

# 季節指数利用上の注意

2020年4月17日

## (1) 手法

鉱工業指数における季節調整済指数系列は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因(在庫指数は当該調整なし、稼働率指数は曜日要因のみ)によっても調整されている。具体的には以下のとおり。

$$\text{季節調整済指数} = \text{原指数} \div (\text{季節} \cdot \text{曜日} \cdot \text{祝祭日指数})$$

## (2) スペックファイル

使用しているスペックファイルの見本は以下のとおり。

```
series { start = 2012.1
        span = (2012.1,2019.12)
        decimals = 1 }
transform { function = log }
arima { model = (XXX)(XXX) } →
regression { variables = (td1 nolpyear) →
             save = (td hol)
             user = (jap-hol)
             usertype = holiday
             start = 2012.1
             file = "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx" }
forecast { maxlead = 12 }
estimate { save = ( mdl )
          maxiter = 500 }
x11 { print = (none + d10 + d11 + d16)
      save = (d10 d11 d16)
      seasonalma=x11default }
```

生産指数は(1 1 0)(0 1 1)、出荷指数は(0 1 1)(0 1 1)、  
在庫指数、在庫率指数は(0 1 0)(0 1 1)、稼働率指数は  
(1 1 1)(0 1 1)

在庫指数の場合は regression の{ }内を全て  
削除。稼働率指数は regression の下線部分  
を削除

## (3) 季節指数等の運用

2020年1月以降の季節指数は、暫定季節調整方式を採用している。

具体的には、2019年の季節要因と、上記(2)で推計されたパラメータとカレンダーから計算した曜日・祝祭日要因から、季節指数を作成、利用している。

(4) 異常値処理

2019 年年間補正において、異常値が検出された系列と異常値処理を行った種別、年月は以下のとおり。

系列名称		異常値種	処理年月
鉱工業指数	在庫率	AO	2014 03

TC: temporary change

LS: level shift

AO: additive outlier

これにより 2019 年年間補正で修正した(2) のスペックファイルは以下のとおり。

< 鉱工業在庫率指数 >

regression { variables = (td1nolpyear **ao2014.3**)

(5) 祝祭日変数の扱いについて

X-12-ARIMA における祝日の扱い((2)のスペックファイルの記述で file="XXXX..."の部分)については、以下のとおり。

季節指数計算の対象年月(8年間)について、各年におけるそれぞれの月における平日(月曜日から金曜日)が祝日になる日数(A)を数え、次に1月から12月それぞれにおける8年間の祝日の平均値(B)を求めた後、各年におけるそれぞれの月の祝日日数(A)から平均値(B)を差し引いた値を X-12-ARIMA に与えている。

2019 年年間補正で使用した内容は、以下のとおり。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2012年	0.000	-0.750	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	-0.875	-0.125	-0.500	0.250
2013年	0.000	0.250	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	0.125	-0.125	-0.500	0.250
2014年	0.000	0.250	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	0.125	-0.125	0.500	0.250
2015年	0.000	0.250	-0.875	0.000	0.375	0.000	0.000	-0.375	1.125	-0.125	0.500	0.250
2016年	0.000	0.250	0.125	0.000	0.375	0.000	0.000	0.625	0.125	-0.125	0.500	0.250
2017年	0.000	-0.750	0.125	-1.000	0.375	0.000	0.000	0.625	-0.875	-0.125	0.500	-0.750
2018年	0.000	0.250	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	0.125	-0.125	-0.500	0.250
2019年	0.000	0.250	0.125	1.000	1.375	0.000	0.000	0.625	0.125	0.875	-0.500	-0.750
2020年 (暫定期間)	0.000	1.250	0.125	0.000	0.375	0.000	1.000	0.625	0.125	-1.125	0.500	-0.750
2021年 (暫定期間)	0.000	1.250	-0.875	0.000	0.375	0.000	0.000	0.625	0.125	-0.125	0.500	-0.750